

## 事後評価結果（令和元年度）

担 当 課：北陸地方整備局道路部道路計画課  
担当課長名：神田 真太郎

<b>事業名</b> 一般国道148号 <small>おたり</small> 小谷道路	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 北陸地方整備局
<b>起終点</b> 自：長野県北安曇郡小谷村大字北小谷字穴平 至：長野県北安曇郡小谷村大字北小谷字下平	<b>延長</b> 4.6km	

### 事業概要

一般国道148号小谷道路は、長野県大町市から新潟県糸魚川市に至る約70kmの幹線道路である。当該事業は、幅員狭小・線形不良箇所の解消、局所的な防災上の課題の解消、冬期交通障害の解消などを目的とした、延長約4.6kmの直轄権限代行による道路整備事業である。

### 地域の防災面の課題

- ・小谷道路の旧道区間には、道路幅員5.5m未満の未改良区間や、トンネル、洞門、橋梁部など1車線の隘路区間や、道路構造令の基準値を満たしていない線形不良箇所が存在していた。  
 （最小曲線半径：20m、最急縦断勾配：9.2%、最小幅員：4.0m）
- ・当該区間は、冬期の大型車等によるスリップや登坂不能が多発し、年平均8.8回（31時間）の交通障害が発生していた。
- ・当該地域は急峻で脆い地形・地質のため、過去に豪雨等による大規模災害が発生しており、地域の日常生活に多大な影響を及ぼしていた。
- ・当該道路は、北小谷地区から第2次医療施設である大町総合病院への唯一のアクセス路となっており、他に代替路がない。
- ・フォッサマグナの西縁に位置し、急峻で脆弱な地形・地質となっており、山腹斜面は中生代の来馬層群を覆って崩積土層（未固結堆積物）が分布していること、また地質構造が複雑で岩盤の割れ目が多く地下水が浸透し風化が進んでいることから土砂災害を受けやすく、早急に対応が必要である。【国道148号小谷道路防災効果検討委員会（H25.9）】

### 事業概要図



<b>事業の効果等</b>	<b>事業期間</b>	事業化年度：S63年度 都市計画決定：一年度	用地着手：H元年度	供用年：(再評価) —/H25年度 (実績) —/H26年度	変動：1.0倍
	<b>事業費</b>	再評価時：(名目値) —/253億円 (暫定/完成) (実質値) —/226億円	実績：(名目値) —/250億円 (暫定/完成) (実質値) —/222億円		変動：1.0倍
	<b>費用対効果分析結果 (再評価時)</b>	事業の効果等： <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等（281億円）</li> <li>○幅員狭小・線形不良箇所の解消</li> <li>○冬期交通障害の解消 等</li> </ul>			費用：327億円 事業費：324億円 維持管理費費：2.5億円
	<b>費用対効果分析結果 (事後)</b>	事業の効果等： <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時の迂回解消を含めた走行時間の短縮等（171億円）</li> <li>○幅員狭小・線形不良箇所の解消</li> <li>○冬期交通障害の解消 等</li> </ul>			費用：461億円 事業費：455億円 維持管理費費：6.1億円

	<p>事業遅延の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年3月に発生した斜面崩壊に伴い、斜面点検を実施した結果、雪崩の危険性が高い箇所が確認され対策工法の検討や追加地質調査等により時間を要したため、事業が遅延したものである。</li> </ul>
	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○国土・地域ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消（トンネル、洞門などの隘路区間：最小幅員W=4.0m→11.5m、最小曲線半径R=20m→120m）</li> </ul> </li> <li>○安全で安心できるくらしの確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>二次医療施設へのアクセス向上（北小谷地区～大町総合病院（所要時間：59.4分→55.9分）</li> </ul> </li> <li>○災害への備え <ul style="list-style-type: none"> <li>冬期通行障害区間の解消（最急縦断勾配：i=9.2%→6.0%）</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">他10項目に該当</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模災害時においても信頼性の高い交通を確保することにより、通行止めによる日常生活や産業活動の損失を減少。</li> </ul>
事業環境変化	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <p>環境影響評価の対象外事業である。</p>
	<p>その他評価すべきと判断した項目</p> <p>特になし</p>
	<p>事業評価監視委員会の意見</p> <p>審議の結果、事業の効果が発現しており、当該事業に関しては、今後の事後評価及び改善措置は必要ないとした事業者の判断は妥当である。</p>
	<p>事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>当該地域周辺では、訪日外国人観光客が増加傾向となっている。</p>
	<p>今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性</p> <p>小谷道路の整備により、本事業の目的であった幅員狭小・線形不良箇所の解消、局所的な防災上の課題の解消、冬期交通障害の解消について効果の発現が確認されており、今後の事業評価の必要性はないと考えられる。</p> <p>また、本事業を介した交通ネットワークが形成されており、今後も事業効果の発現が想定されるため、改善措置の必要性はないと考えられる。</p>
	<p>計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性</p> <p>当該事業は、幅員狭小・線形不良箇所の解消、局所的な防災上の課題の解消、冬期交通障害の解消を目的とした一次改築事業であり、その効果の発現状況を把握することができた。このほか、救急医療施設へのアクセス向上、バス路線の利便性・信頼性向上、物流効率化支援の効果も把握することができた。</p> <p>事業評価手法の見直しの必要性はないと考えられるが、今後もビッグデータ等の詳細なデータを活用し、道路の持つ多様な効果を適切に評価できるよう、検討を進める。</p>
	<p>特記事項</p> <p>特になし</p>

※ 事業の効果に記載している金額は、防災面の効果を完成後50年間の便益額として現在価値化して算出した値であり、試算値を含む。

※ 費用に記載している金額は、現在価値化して算出した値。